

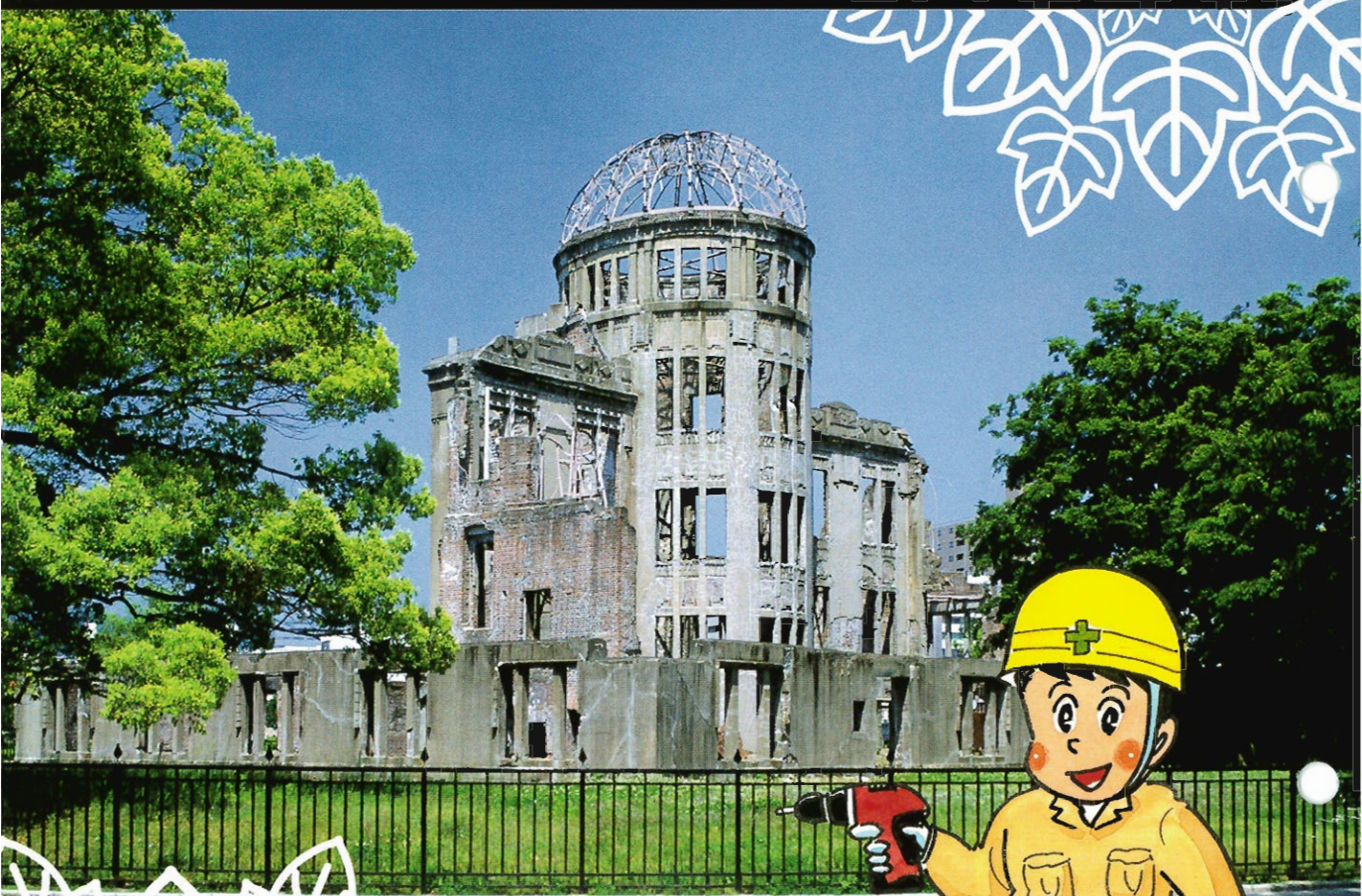
安全と環境を考えるニシオの広報誌

安全くん

2006

Vol-4

82



とれ行け!! 安全くん 「安全くんは文化人?」の巻

●解説コーナー

「高所作業車(屋内用垂直昇降タイプ)の事故例」
「あなたも熱中症にかかるかも!?」
「暑い季節、「汗」のケアも忘れずに!」

●世の中 見たトコ勝負 VOL.22

「アナログよ、もう一度!」

●NISHIO TOPICS

耐震管の認定を受けている水道配水ポリエチレン管をご存知ですか?

●お知らせ・情報コーナー

「CONET 2006」へグループ5社で出展します!

表紙写真:
原爆ドーム
(広島県)

インターネットホームページ
「安全くんネット」もご覧ください。

<http://www.anzenkun.nishio-rent.co.jp/>

〈この広報誌は、再生紙を使用しています。〉

それ行け!! 安全くん

画 中村よしのぶ

連載 その82

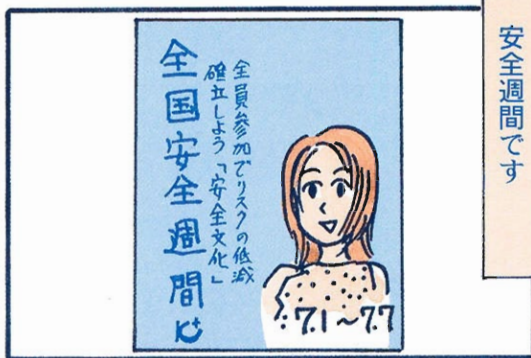
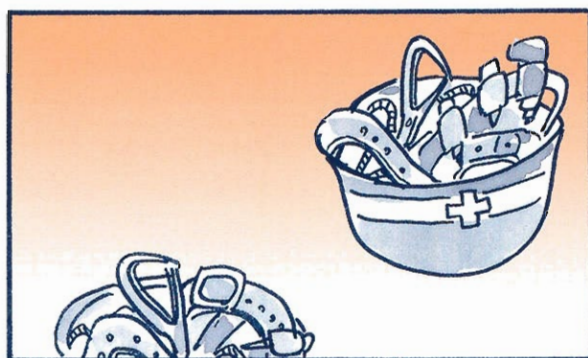
「安全くんは文化人？」の巻



info motion

表紙の写真

安全週間です



世界文化遺産 日本編 広島平和記念碑「原爆ドーム」(広島市) 1996年12月登録 1945年8月6日の広島原爆により破壊された広島県産業奨励館の残骸。1966年に広島市議会が原爆ドームの保存を決議し、その後、国内外からの募金により大規模な保存工事が行われ、市や市議会、広範な市民運動の結果、1995年に国の史跡に、ついで1996年には、人類の負の遺産であり「歴史の生き証人」「平和のシンボル」として世界文化遺産へ登録されました。



解説 コーナー

高所作業車（屋内用垂直昇降タイプ）の事故例

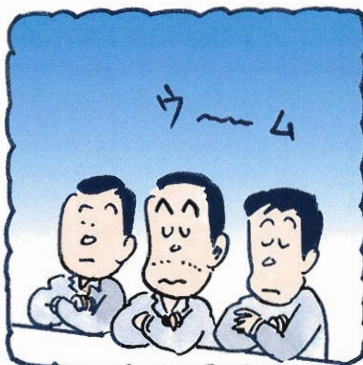
- ①作業床から他へ乗り移ろうとして墜落
安全のための機械でも不安全行為をすれば当然事故を招きます。
- ②作業床の上に脚立などを立ててその上で作業をしていて転倒し墜落
とにかく無茶な使い方です。機種選択、位置決めに注意してください。
- ③資材を乗せるなどの都合で、手すりを外して、そこから墜落
資材を上げるには、専用の揚重機を使ってください。また、積載荷重の厳守、偏荷重にもご注意ください。
- ④間口部、階段、段差に気付かず走行して転落
あらかじめ危険箇所へ入らないような措置・誘導員の配置が必要です。
- ⑤昇降・走行時に上部構造物に気付かず激突したり、はさまれる
頭上への注意を怠ったことによるケースです。もちろんヘルメットも必ず着用のこと。

- ⑥クローラタイプ、スロープのさしかかりでバウンド
下りスロープに入ったところで、勢いよく前傾してしまい、はすみで手摺にぶつかり被災。慎重に！
 - ⑦スロープを直角に降りず、斜めに降り転倒
本来、傾斜面は直角に登り降りしなくてはならないところ、傾斜面を斜めに横切り転倒し被災。
 - ⑧ホイールタイプで、下りスロープの算木につまずき転倒
算木がある傾斜した足場材を降りる際、勢い余って車体がバウンドし、操作を誤り足場材から転倒、被災。
- 移動時に多い事故にご注意！
最近増加傾向にあるのは作業場所へ移動する際や格納時に起こす事故です。特に、作業終了で格納時には気持ちが緩んでいることもあって注意を要します。なお、作業時は、少しの距離しか移動・走行をしませんが、位置決めの関係で上ばかり見ていて、回りにぶつかけたり床面に置かれた資材などに乗り上げることも多いようです。

文化とは、人間の生活様式の全体をさす。人類の手で築き上げてきた有形・無形の成果の総体。
それそれぞれの民族・地域・社会に固有の文化があり、学習によって伝習されるとともに、相互の交流によって発展してきた。



「文化」は民族や社会の風習・伝統・思考方法・価値観などの総称で、世代を通じて伝承されていくものを意味する。一方、「文明」は人間の知恵が進み、技術が進歩して、生活が便利に快適になる面に重点がある。
(以上、大辞泉より)



解説コーナー

あなたも熱中症にかかるかも!?

～例年、7～8月に多く、時間帯は14時から16時、年齢は高くなるほど危険性大～

■嫌と言うほど聞かされている“熱中症”の恐怖ですが、それでも毎年のように死亡事故が発生しています。

以前に比べ、現場でも製氷機やドリンク、塩などの用意もしっかりされており、後頭部や首筋を守る製品も配られたりしています。しかし、各個人がしっかり認識し、自分自身で体調の管理をしていかなければ、これらの対策も何の効果も発揮しません。以下の内容にあなたも該当するのでは？ 他人事ではありません。

◆熱中症にかかりやすい状態の方とは？

○体力の弱い方 ○肥満の方 ○体調不良の方 ○暑さになれていない方 ○風邪など発熱している方 ○怪我や故障している方 ○過去に熱中症になったことがある方 ○性格的に、我慢強い、まじめ、引っ込み思案な方など

◆要注意の方

○高齢者 ○心疾患（冠状動脈疾患など） ○高血圧 ○アルコール中毒 ○糖尿病 ○発汗機能が低下している方

◆熱中症の起こりやすい環境や条件

○前日までに比べ、急に気温が上がった場合
○梅雨明けをしたばかりの時
○気温はそれほどでなくとも、湿度が高い場合（例：気温20℃、湿度80%）
○普段の活動場所とは異なった場所の場合（涼しいところから暑いところへなど）
○休み明け、新規入場直後
○仕事が連日続いた時の最終日前後

（参考：熱中症のホームページ <http://www.heat.gr.jp/index.html>）

ガンさんのワンポイントレッスン

『なぜ、高所作業車を使うのか』

屋内用のリフト車（バッテリー式高所作業車）は、1980年代の後半に建設現場に登場し、最近ではオフィスビルの新築現場の天井部での電気・空調などの配管作業に大量に活用されるようになりました。これは、脚立やウマ足場での事故の多発や作業効率の悪さが原因です。従来の機材では、

1. 作業姿勢が制限され、無理をして倒れたり、墜落することが多かった
2. 手すりなどがなく不安定である
3. 作業場所を移動する場合、脚立等も移動し位置決め設置する必要があった

一方、屋内工事用のリフト型の高所作業車は、

- A. 作業床が脚立に比べて広く、手すりもあるので作業しやすい
- B. 移動はレバー操作で簡単にでき、アウトリガーなしでも安定感がある

- C. 作業床高さも、2.8m～4m程度まである

以上のようなメリットがあります。このように本来、高所作業車は、作業者の安全や作業効率のためだけに現場に入る機械です。しかし、機械は人が操作するもので、不具合も発生します。使用方法や機械装置自体の安全性などの問題もその都度、現場の担当者の皆さんやメーカー、そして普及に貢献したレンタル会社が力をあわせて改善を続け、今に到っています。これからも、高所作業車のメリットと正しい使用方法を実践し、安全と作業効率に生かしていきましょう。



SAFETY CHECK

セーフティ
チェック

スライドデッキの安全対策

屋内系高所作業車で利便性のよさで延長式のデッキを導入されるケースが増えてきています。今回は使用時の安全について、まとめてみました。

◆スライドデッキ特有のニアミス

スライドで突き出した部分は、真下が死角となります。リフト下降時に人や障害物が無いか十分に確認してください。走行移動時は、操舵側の前タイヤが操作位置より、後ろになるのでステアリング切れ角や旋回範囲も注意しましょう。

◆安全ワンポイント

スライドレール部分にゴミや異物が噛み込むとデッキがスムーズに格納できなくなり、故障の原因となります。デッキ上は常に清掃を保ってください。またデッキ延長時はピンロックの確認と荷重表示、特に延長部分は、積載荷重が小さくなるので注意し、過荷重による転倒を防止してください。
※延長作業床に乗員がいる状態で作業床をスライドさせないでください。





解説 コーナー

暑い季節、「汗」のケアも忘れずに！

「夏に汗をかくのは当たり前」とはいえ、「汗くさい」と思われるのはイヤなもの。汗に悩む人も多いのではないのでしょうか。そもそも汗の大切な役割は「体温調節」。人は恒温動物ですから、運動や暑い外気にふれるなどして、体内で熱が生産されたときは、その熱を対外に放出することで熱量のバランスをとり、体温が一定になるようキープしています。その一役を担うのが「汗」なのですが、その成分は99%以上が水で、そのほかにはごくわずかのナトリウムや塩素、カリウム、カルシウム、尿素、アンモニア等が含まれています。夏に汗をかくのはごく自然なこと。体熱の発散を妨げないよう、薄手で通気性のいい肌着を着て、かいた汗をこまめにケアすることで、汗くささとオサラバしましょう。

<汗のニオイ対策>

1. まず清潔第一

毎日お風呂に入る、下着はこまめに取り替える...が基本。仕事中でも、汗をかいたまま放置せず、しっかり汗を拭き取りましょう。乾いたタオルで拭くより、水につけて硬く絞った濡れタオルなら、肌のべたつきを取り除くので、汗のニオイを防いでくれます。

2. 制汗剤やデオドラント剤の使い分け

ドラッグストアでよく見かける制汗剤やデオドラント剤は、①汗を抑える、②雑菌の繁殖を抑える、③ニオイを抑える、④よい香りでマスキングする、⑤汗を吸収、拭き取る、

という5つの基本的役割の組み合わせで製品が作られています。種類が多いので、それぞれの目的によって選びましょう。

3. 食べ物に気をつける

肉・牛乳・チーズなどの動物性たんぱく質や脂肪を多く含む食品をたくさん食べると、脂質の分泌が増え、ニオイがきつくなりがちです。また、ニンニク・ネギ・らっきょう・ねぎなどもニオイの原因。夏場は、食べる時間や場所を考えましょう。

(しかし、夏バテ対策で、このあたりが「効果あり」の食材だけにつらいところですが...要注意！)

